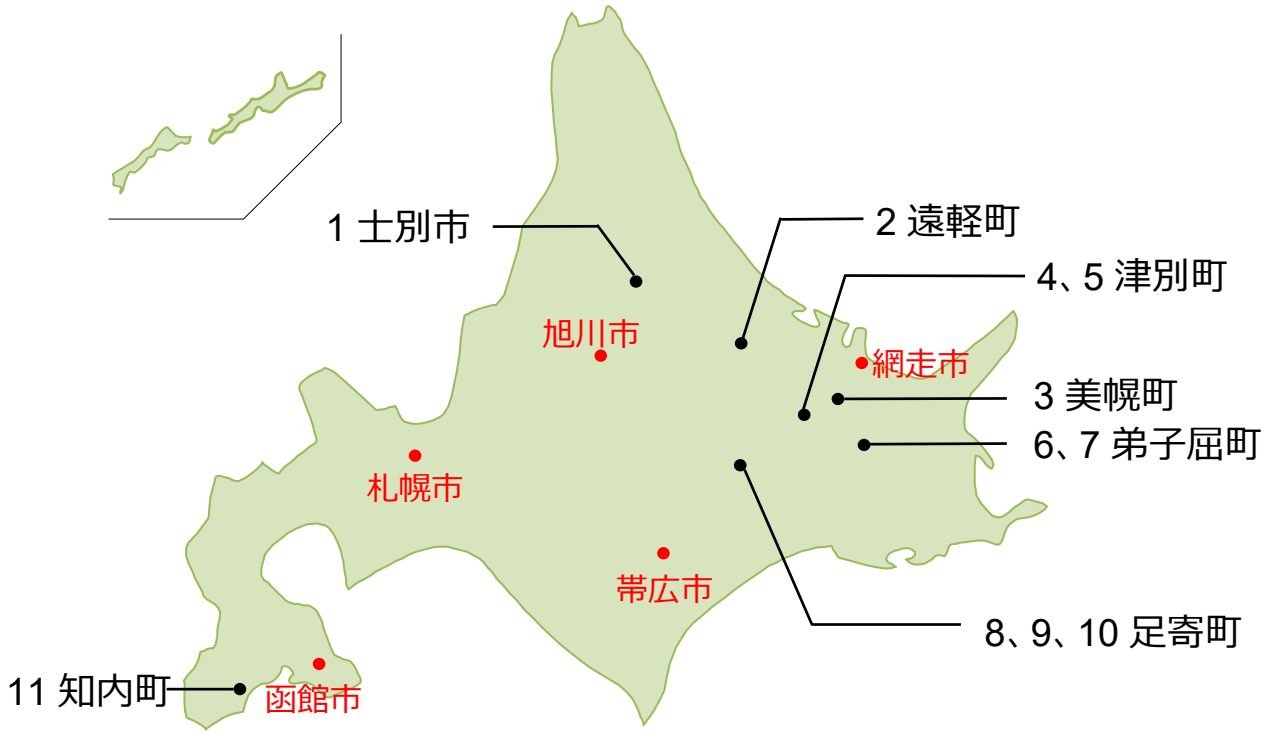
「昭和100年記念分収造林(グリーン・シェアリング)」候補地一覧

～北海道森林管理局管内～



NO.	自治体名	ストーリー	アクセス
1	士別市	天塩川支流で森づくり。市内には天塩岳があり、毎年夏に天塩川源流まつり（士別天塩川まつり・岩尾内湖水まつり）を開催。	
2	遠軽町	林業が盛んで、各地域で特色あるウッドクラフト（木芸品）が特産品の町。木工品に係る施設もある。	
3	美幌町	日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖や、湖を一望できる美幌峠を源とする美幌川等、数々の美しい川が流れる町で森づくり。	マイクロバス通行可、傾斜平坦
4、5	津別町	阿寒摩周国立公園付近に位置する豊かな森。津別峠に近い「ノンノの森」では森林セラピー体験ができる。	
6、7	弟子屈町	日本一の透明度をほこる摩周湖、日本最大のカルデラ湖である屈斜路湖、噴気をあげる硫黄山があるなど、雄大な自然が広がる。	現地は屈斜路湖の近く
8～10	足寄町	オンネトーでは、湖畔の原生林等原始的な景観が維持されているほか、「日本一大きなフキ」とされるラワンぶきの自生地がある。	
11	知内町	森林面積は81％を占め、豊富な水に恵まれ、町の中央を知内川が流れ津軽海峡に注ぐ。矢越海岸は変化に富んだ海岸景観がみられる。	マイクロバス通行可

※候補地は掲載後に公募の終了や候補地の変更が生じる場合がありますので、最新情報は各森林管理局へお問い合わせください。